

診療情報を利用した臨床研究について

森山記念病院脳神経外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族が診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2018年4月1日～2021年12月31日の間に、機能性下垂体腺腫のために森山記念病院脳神経外科に入院し、経鼻的手術を受けられた方

【研究課題名】

機能性下垂体腺腫において、海綿静脈洞内側壁を切除することにより、内分泌学的寛解率が改善するかの検討

【研究の目的・背景】

機能性下垂体腺腫における手術の目的は内分泌学的寛解を得ることです。その最大の障壁は腫瘍の海綿静脈洞への浸潤です。その内部に浸潤しているものの寛解率は有意に低いことが証明されています。あきらかな浸潤がないものでも、その内側壁に浸潤しているものがあり、内側壁を切除することが、寛解率の上昇に寄与することは容易に推測されます。しかし、現在までにまとまった報告はありません。今回我々は250例ほどの大規模な後方視的研究で、このことをあきらかにしようと考えました。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

病院長承認日 ～ 2021年12月31日

【単独／共同研究の別】

森山記念病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は森山記念病院石田敦士のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、MRI 画像データ、病理診断結果、手術記録など

【研究代表者】

森山脳神経センター病院 間脳下垂体センター 山田正三

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族が診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、2022 年 12 月 31 日までに下記相談窓口までご連絡ください。また、ご自身やご家族が、診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

森山記念病院脳神経外科 石田敦士

電話 03-5679-1211(代表)